

国語科 1年

登場人物の心情や関係を表している言葉に寄り添おう

担当 釘宮里枝

【活動の目標】

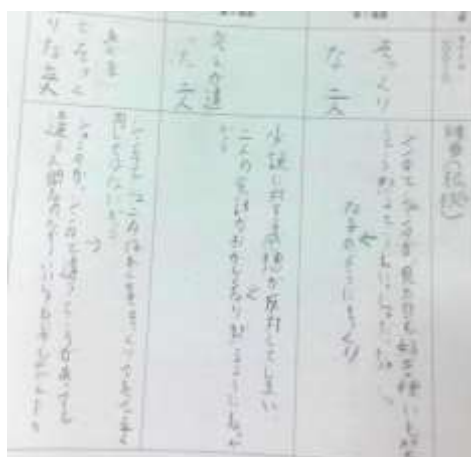
場面ごとに登場人物2人の関係性に着目した「～二人」というタイトルをつけることを通して、関係性の変化を理解するとともに、関係性を表現する言葉について考える。(思考・判断・表現 C-イ)

【 問 い 】

- ・場面ごとに「～二人」の形でタイトルをつけよう。
- ・みんなは「～二人」にどんな言葉を入れることで関係性を表現しようとしているのか。

今回 ICT を活用した場面	従来 of 活動
A1・C1・C2 ・場面ごとのタイトルとその根拠を記入したワークシートを共有する。 ・全員の作品を整理し、タイトルに使われた言葉の共通点や上手だと思ったタイトルの特徴をから、関係性を表現する言葉について考える。	・挙手で数名に発表させ、タイトルと根拠を交流する。 ・班の中で交流し、4～5人の作品の中から、共通点や特徴を考える。

【資料】生徒が共有したワークシート



【ICT 機器を活用する良さ】

- 自分の作品が全員の目に触れるということ意識して作成することになり、意欲をもって取り組んでいた。
- クラス全員の作品を共有したことで、多様なタイトルに出会うことができ、多くの共通点や特徴を挙げるできていた。
- ワークシートの根拠の記入についても気づく生徒がおり、文章中の表現をもとに考えることと、それをわかりやすく記入することの大切さに触れたふりかえりをする生徒もいた。

【改善すべき点と原因および改善案】

- 時間がかかった。1年生で、この作業を初めて行う生徒も多かったことが原因である。回数を重ねることで、時間短縮は図れると考えているが、学年全体で基本的な作業の説明や練習を行うと、各教科の時間を圧迫することなく行えるのではないかと考える。